

# 湖東圏域の取組方針に基づく2022年度の取組報告

## 1. 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施

取組項目	実施時期	取組機関
・対象となる全要配慮者利用施設における避難確保計画の作成、更新および避難訓練の実施を支援し、毎年協議会の場において状況を確認する	引き続き実施	1市4町 滋賀県

### ①避難確保計画作成状況（令和5年3月末時点）

市町名	地域防災計画への位置づけ	対象施設数	避難確保計画作成状況	避難訓練実施状況
彦根市	2020年9月	196	124/196	89/196
愛荘町	2018年4月	36	21/36	18/36
豊郷町	2020年3月	5	5/5	0/5
甲良町	2021年3月	19	13/19	0/19
多賀町	2018年3月	5	4/5	0/5

### ②避難確保計画の作成支援

#### ・災害救助市町担当者会議における情報提供

日時:令和4年6月22日(水)  
 開催方法:WEB会議形式  
 参加者:各市町防災・福祉部局担当者

内容:  
 1. 災害救助法の概要  
 2. 備蓄物資・災害時応援協定について  
 3. 個別避難計画作成(モデル事業)について  
 4. 避難確保計画の作成について

国の動向や避難確保計画の作成状況、実施している取組などについて、防災・福祉部局の担当者が参加する会議にて共有

#### ・県庁内関係部局の連絡調整会議

日時:令和4年7月14日(木)  
 場所:危機管理センター  
 内容:避難確保計画の作成状況等を共有するとともに、各市町や施設への支援について検討。  
 ⇒県所管施設の追加や廃止等の状況を確実に地域防災計画へ反映していただけるよう、県所管施設のリストを作成し、令和5年3月23日に情報提供した。

#### ・「避難確保計画作成の手引き」の改正

国が公表する手引きの改正等を踏まえ、2022年7月に滋賀県版の手引きを改正

国土交通省が公表する手引きの改正や気象庁が運用するキキクルの変更を踏まえた改正を実施

#### ・各市町における支援

- 【彦根市】
  - ・令和3年度に実施した通知に加え、令和4年度、対象施設に対して計画作成に関するアンケート調査を実施
  - ・市内にモデル地区を2箇所選定し、市、要配慮者利用施設、自主防災組織および地域住民と合同で訓練を実施
- 【愛荘町】
  - ・滋賀県流域政策局流域治水政策室と連携し、避難確保計画作成に係る説明会を実施
- 【甲良町】
  - ・説明を希望された施設に個別で説明会を実施



# 湖東圏域の取組方針に基づく2022年度の取組報告

## 3.土砂災害リスク箇所調査と区域の指定

取組項目	実施時期	取組機関
・土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施する	引き続き実施	滋賀県

土砂災害リスク箇所の調査(1巡目基礎調査)と土砂災害警戒区域等の指定が完了し、指定した区域について、おおむね5年毎に区域の見直し調査(2巡目基礎調査)を実施する。

また、測量技術の向上を受け、2巡目基礎調査にあわせ、詳細な地形データを用い危険箇所の洗い出しと調査を実施する。

湖東圏域では、R4年度に航空レーザ測量により詳細な地形データを取得し、R5年度から新たなリスク箇所、区域の見直しが必要となる箇所の抽出業務を実施予定。

その後抽出した箇所の調査を実施し、土砂災害警戒区域等の指定を行う。

調査結果は随時滋賀県HPに掲載する。

航空レーザ測量



航空写真測量



## 4. 土砂災害リスクの現地表示

取組項目	実施時期	取組機関
・リスク情報の更新に応じて、水害危険性および土砂災害の危険性周知について情報共有する	引き続き実施	1市4町 滋賀県

・R4年度に土砂災害警戒区域等の周知のための標識設置について、発注方法等の検討を行った。  
R5年度以降は市町と具体的な設置場所やレイアウトについて協議し、標識を設置する予定。

大型標識 (案)



電柱添架型標識 (案)



## 5.ダム等の洪水調節機能の向上・確保

取組項目	実施時期	取組機関
・ダム再生に向けた事業化の検討を行う。 運用面での治水効果向上、施設改築による治水効果向上	引き続き実施	滋賀県

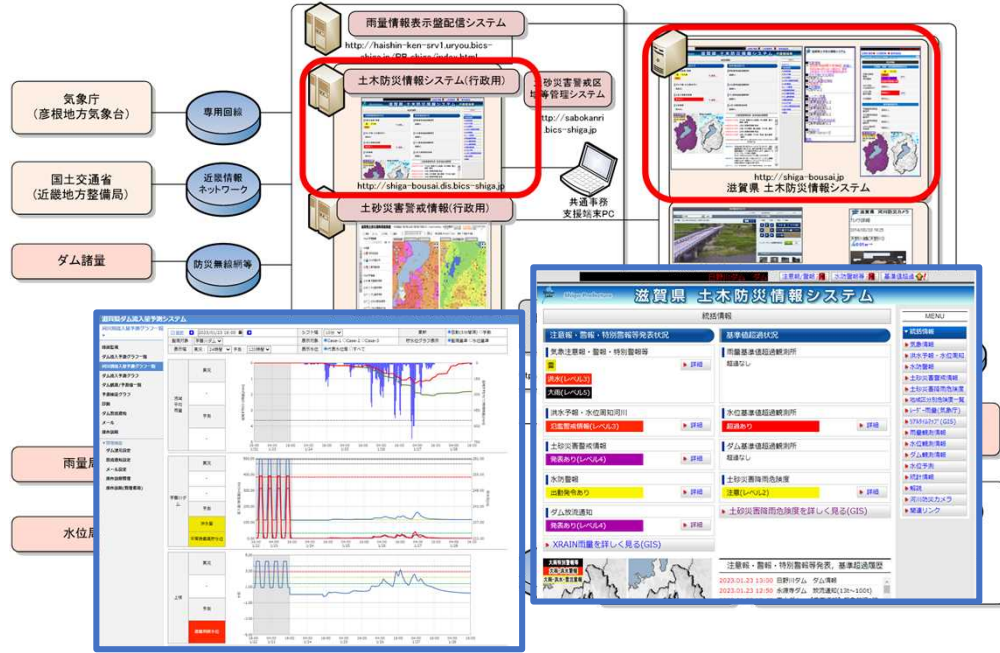
### ○既存ダムの洪水調節機能強化（事前放流）の運用

治水の計画規模や河川（河道）・ダム等の施設能力を上回る洪水の発生時におけるダム下流河川の沿川における洪水被害の防止・軽減を図るため、令和2年5月29日に「淀川水系治水協定」を締結し、ダムの事前放流の運用を開始した。

宇曾川ダムの下流河川断面等を考慮し、基準降雨量を流出解析を用いて算出したので、青土、日野川ダムの上流にある利水ダム等と調整のうえ、他ダムと合わせて、R5年度に淀川水系ダム洪水調節機能協議会に諮る予定。

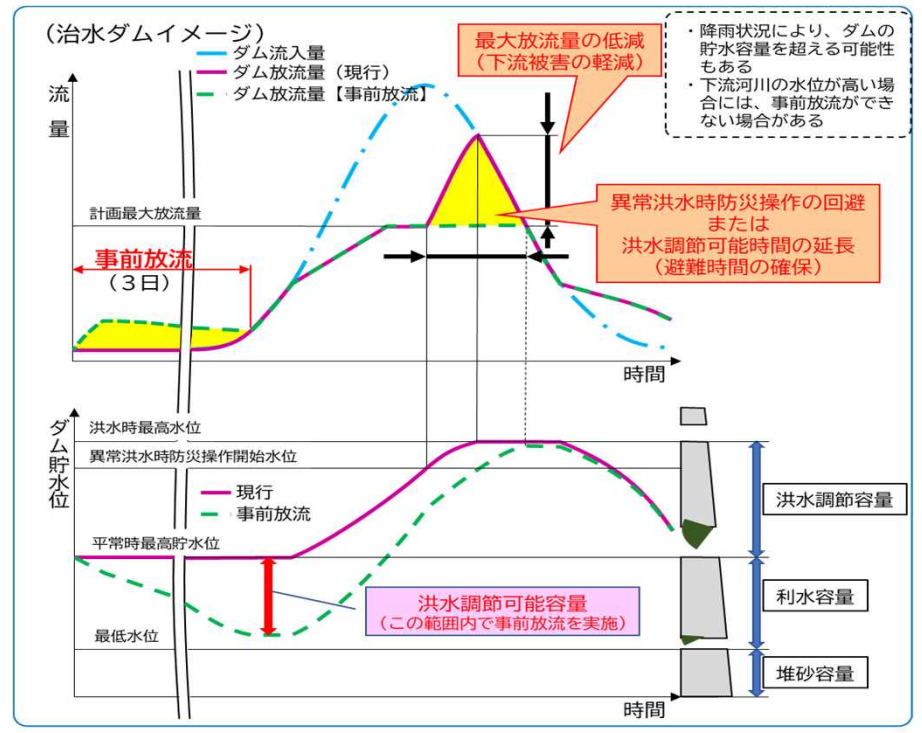
また、滋賀県土木防災情報システムに「ダム流入予測機能」を追加し、ダムへの流入量を予測することでより、ダム運用の精度向上を図るとともに、事前放流実施等のダム放流通知を掲示し、住民へダム運用状況を周知する。令和4年度構築完了、令和5年度出水期から運用開始します。各市町さんへのダム放流通知の確認は、従前からの河川洪水予報や土砂災害警戒情報と同様にシステムによる伝達および確認になります。

### ・滋賀県土木防災情報システムへの「ダム流入予測機能」の追加



対象ダム名	事前放流		期別貯水位の設定		【参考】 既存洪水 調節容量 (万m <sup>3</sup> )
	基準降雨量 (mm/24h)	洪水調節 可能容量 (万m <sup>3</sup> )	洪水調節 可能容量 (万m <sup>3</sup> )	期 間	
	当初				
余呉湖	251	440	-	-	200
日野川	592	30	-	-	92
石田川	285	127	-	-	187
宇曾川	545	25	-	-	235
青土	654	250	-	-	410
姉川	815	180	-	-	470

・青土ダム、日野川ダムの上流にある利水ダム（野洲川ダム、蔵王ダム）と基準降雨量を調整



# 湖東圏域の取組方針に基づく2022年度の取組報告

## 6. 水害・土砂災害危険性の周知

取組項目	実施時期	取組機関
・愛知川における避難判断の目安検討と情報共有を実施する	引き続き実施	彦根市 愛荘町 滋賀県

### (1) 愛知川沿川防災情報WGの設置目的

愛知川については東近江圏域と湖東圏域の境を流れており、大雨の時の避難勧告等の発令について左岸右岸の市町で発令タイミングに差があったこと、また上流に永源寺ダムを抱えていることから、これらに関する情報を沿川の3市町(東近江市、彦根市、愛荘町)で共有したいとの声があり、平成27年度に設立した圏域を超えたWGである。

また、当WGは、それぞれが主体となって実施するWGであり、下記のタイミングで実施することとしている。

- ・顔合せ、防災情報の共有を図るため、毎年度初めに開催
- ・協議したいこと、情報共有したいこと等が出てきた際に開催



愛知川と流域市町の位置関係

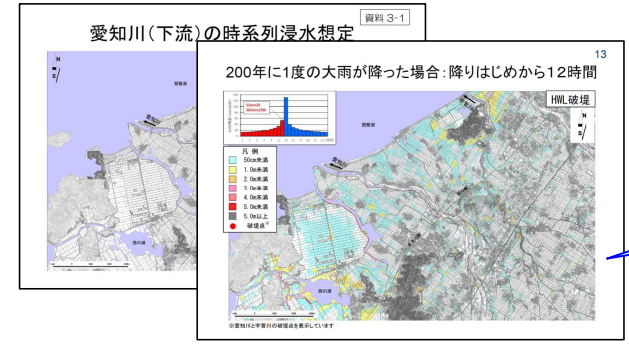
### (3) 令和4年度 愛知川沿川防災情報WGの概要

件名	目的	日時・場所	出席者	議事
令和4年度 第1回 調整会議	年度初めの顔合せを行うとともに、防災情報を共有する。	令和4年5月19日 10:30~11:45 WEB会議形式	【市町】 彦根市、東近江市、愛荘町 【滋賀県】 耕地課、永源寺ダム管理支所、 流域治水政策室、東近江土木事務所、湖東土木事務所	①昨年度WGの振り返り ②永源寺ダムの概要について ③愛知川の時系列浸水想定について ④愛知川の河川整備と維持管理について ⑤その他意見交換

### (2) 令和4年度 愛知川沿川防災情報WGの実施

令和4年度は、年度初めに顔合せ、防災情報の共有を図るため、調整会議をWEB会議形式にて実施した。

調整会議では、永源寺ダムの概要や愛知川の時系列浸水想定、愛知川の河川整備と維持管理についての情報共有を行い意見交換を行った。



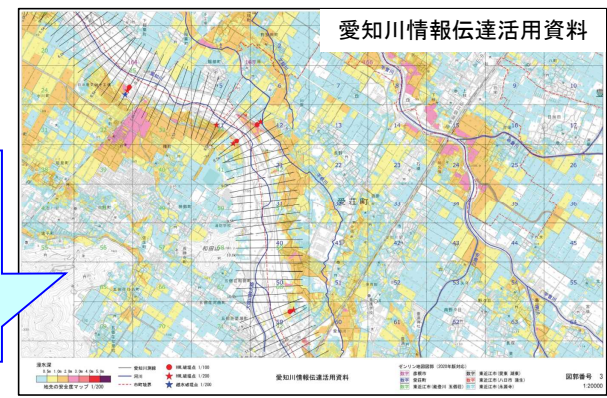
愛知川の時系列浸水想定 (資料3抜粋)

重要水防箇所の点検などをより効果的に実施するために参考とできるよう、愛知川からの浸水を時系列で表現した資料を共有。

意見交換の中で、「大雨時に愛知川沿川で浸水が発生した場合に、発生地点の情報などを関係機関でスムーズに共有するために活用できるような資料の作成」が提案された。

⇒愛知川情報伝達活用資料を作成。  
令和5年度第1回調整会議で共有。

地先の安全度マップの浸水深や破堤点、距離標などを地図上に表示。  
また、ゼンリン住宅地図と連動して確認できるよう、ゼンリン住宅地図の図郭を表示。



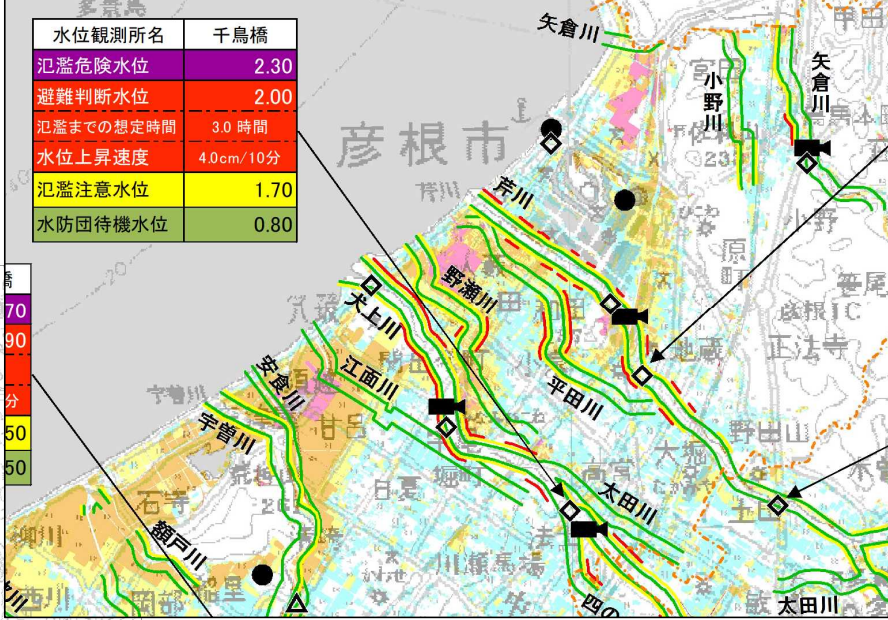
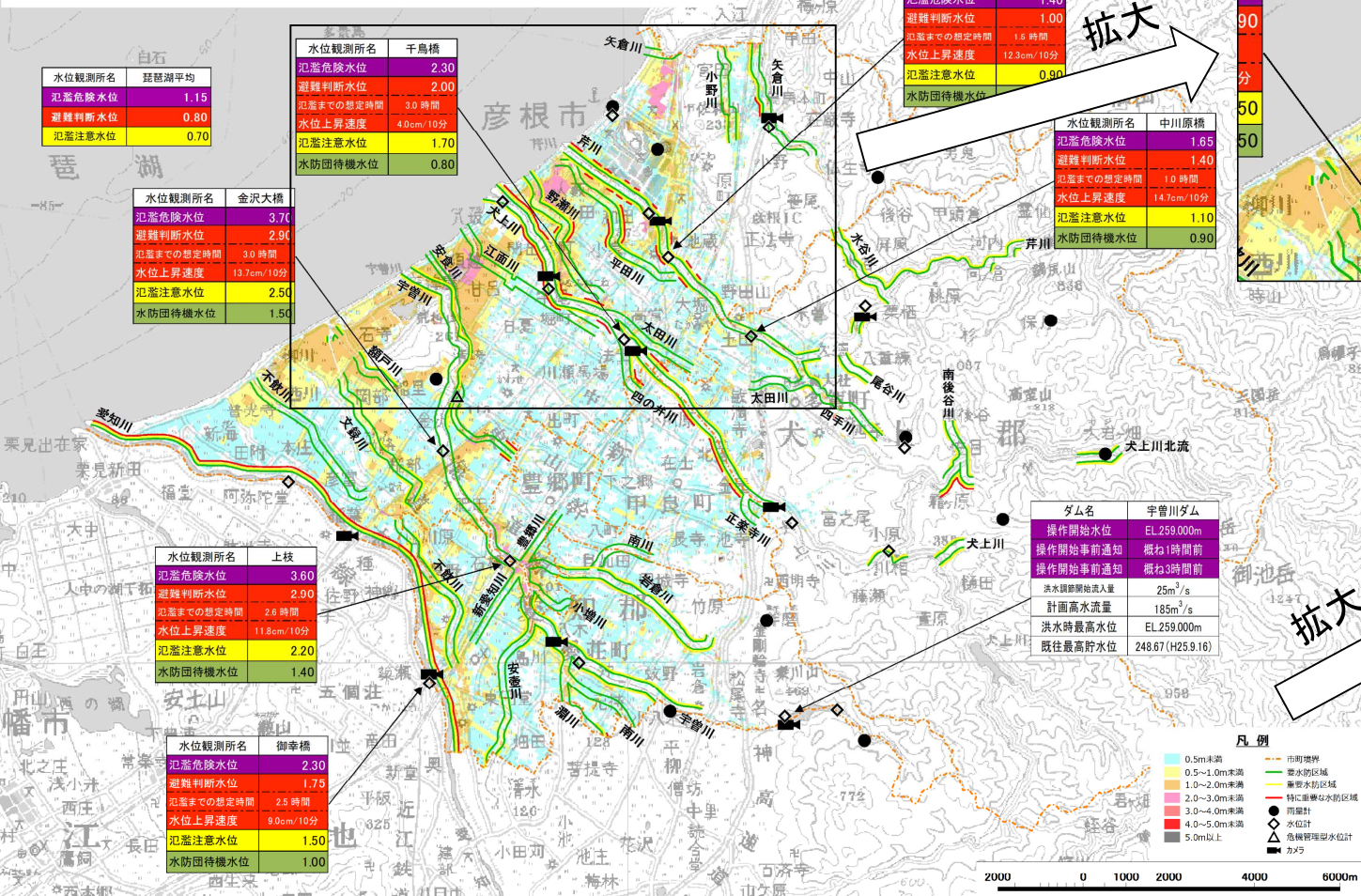
# 湖東圏域の取組方針に基づく2022年度の取組報告

## 7. 滋賀県水防区域図（カメラ・水位計等記載）の作成と提供

取組項目	実施時期	取組機関
<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の場を活用し、大規模な氾濫に対してより広域的、効果的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容について検討する</li> </ul>	引き続き実施	1市4町 滋賀県

「地先の安全度マップ」に水防区域図(令和4年度版)、河川カメラおよび水位観測所の情報を重ね合わせた「滋賀県水防区域図(カメラ・水位計等記載)」を作成し、市町へ提供した。

### 滋賀県水防区域図（カメラ・水位計等記載）



### 凡例

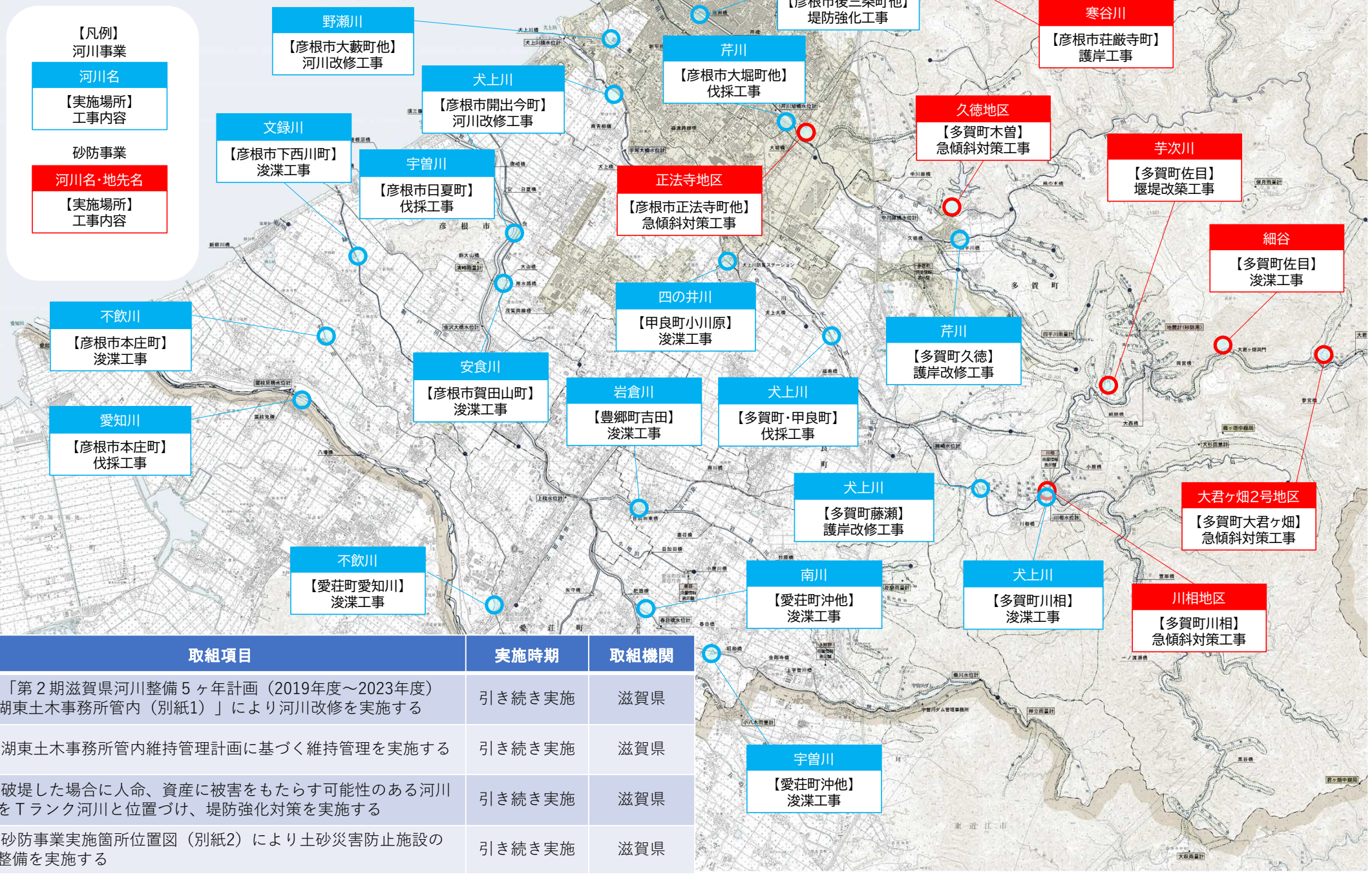
- 0.5m未満
- 0.5~1.0m未満
- 1.0~2.0m未満
- 2.0~3.0m未満
- 3.0~4.0m未満
- 4.0~5.0m未満
- 5.0m以上
- 市町境界
- 要水防区域
- 重要水防区域
- 特に重要な水防区域
- 雨量計
- 水位計
- 危機管理型水位計
- カメラ

背面図が「地先の安全度マップ」の最大浸水深図(1/200)のものと「地先の安全度マップ」の床上浸水発生確率図のものの2種類を作成した。

# 湖東圏域の取組方針に基づく2022年度の取組報告

## 8. 堤防等河川管理施設の整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策）

滋賀県 湖東土木事務所



**【凡例】**  
河川事業

**河川名**  
【実施場所】  
工事内容

砂防事業

**河川名・地先名**  
【実施場所】  
工事内容

取組項目	実施時期	取組機関
・「第2期滋賀県河川整備5ヶ年計画（2019年度～2023年度）湖東土木事務所管内（別紙1）」により河川改修を実施する	引き続き実施	滋賀県
・湖東土木事務所管内維持管理計画に基づく維持管理を実施する	引き続き実施	滋賀県
・破堤した場合に人命、資産に被害をもたらす可能性のある河川をTランク河川と位置づけ、堤防強化対策を実施する	引き続き実施	滋賀県
・砂防事業実施箇所位置図（別紙2）により土砂災害防止施設の整備を実施する	引き続き実施	滋賀県

# 湖東圏域の取組方針に基づく2022年度の取組報告

滋賀県 湖東土木事務所

## 9. 国土強靱化対策に基づく河川整備、土砂災害防止施設整備

取組項目	実施時期	取組機関	対象事業	令和4年度 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、流域治水対策として河川整備等を実施する</li> </ul>	2026.3まで (概成)	滋賀県	犬上川広域河川改修事業	護岸工 L=65m
<ul style="list-style-type: none"> <li>「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、円滑な避難を確保する施設整備を実施する</li> </ul>	2026.3まで (概成)	滋賀県	大君ヶ畑地区急傾斜地崩壊対策事業 川相地区急傾斜地崩壊対策事業	重力式擁壁・落石防護柵工 L=133m ロープ掛工 N=9箇所、モルタル吹付工 A=1,052m <sup>2</sup>





# 湖東圏域の取組方針に基づく2022年度の取組報告

滋賀県 湖東土木事務所

## 10. 重要水防個所の見直し及び水防資機材の確認

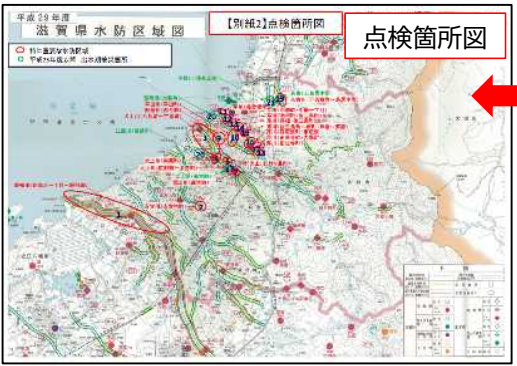
取組項目	実施時期	取組機関
・ 1級河川における重要水防個所について、点検計画を作成し、河川管理者と関係市町が共同点検を実施する	引き続き実施	1市4町 滋賀県
・ 水防資機材について、河川管理者、水防管理者の保有情報を共有する	引き続き実施	1市4町 滋賀県
・ 協議会の場において、共同点検の実施状況、水防資機材の状況について確認する	引き続き実施	1市4町 滋賀県

彦根市点検  
【令和4年7月12日実施】

- ・ 安食川(彦根市安食中町)
- ・ 文録川(彦根市野良田町)
- ・ 愛知川(彦根市内区間)

※令和4年度より2巡目となる共同点検を実施しました。

※これまでの計画を見直し、被害発生頻度の高い中小河川を新たに点検箇所を追加しました。



5ヶ年点検計画に基づき  
共同点検を実施  
全40箇所を5年に一度点検

実施後はカルテを作成し、  
市町と県で共有



安食川(安食中町)実施状況



文録川(野良田町)実施状況



安食川(安食中町)実施状況

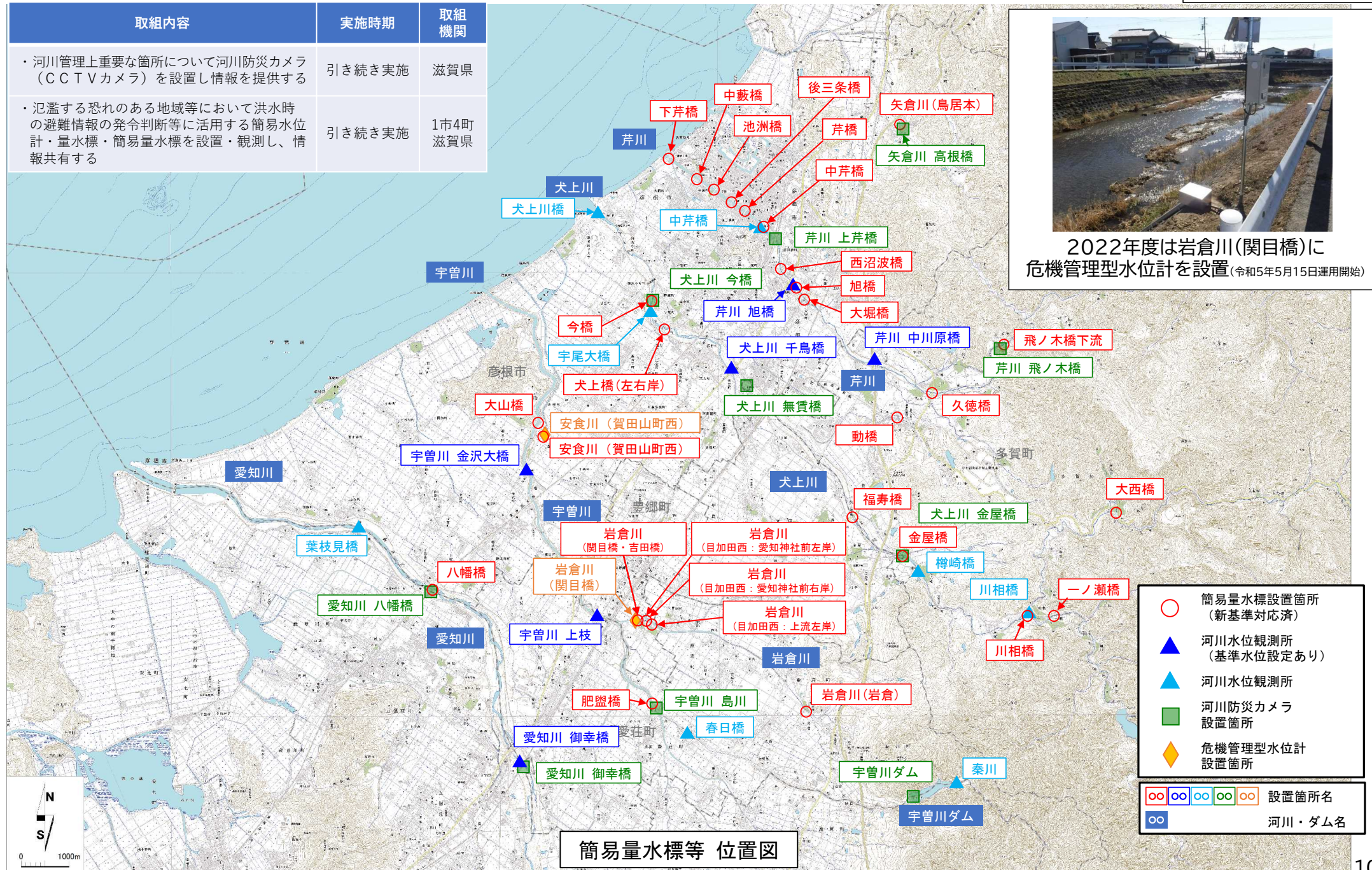


愛知川(葉枝見橋)実施状況

# 湖東圏域の取組方針に基づく2022年度の取組報告

## 11. 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組

取組内容	実施時期	取組機関
・河川管理上重要な箇所について河川防災カメラ(CCTVカメラ)を設置し情報を提供する	引き続き実施	滋賀県
・氾濫する恐れのある地域等において洪水時の避難情報の発令判断等に活用する簡易水位計・量水標・簡易量水標を設置・観測し、情報共有する	引き続き実施	1市4町 滋賀県



## 11. 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する取組

危機管理型水位計の情報は国の専用サイト「川の水位情報」にて閲覧可能です。

危機管理型水位計とは国の主導によりメーカーで開発された、ドコモ携帯回線を利用した太陽電池で動作する低コストの簡易的な水位計で、設計寿命は5年の機器。平常は1日1回6時に観測。水位上昇で10分毎観測。データは国のサーバーに送信され、「川の水位情報」サイトにて一般に公開されています。



### ■表示する項目

- ・河川横断面図  
水位を川の断面イメージで確認できます。
- ・水位グラフ  
水位の移り変わりを確認できます。
- ・観測値一覧  
観測値を一覧で確認できます。

最後に観測した水位

10分ごとに観測

1日1回 6:00観測



### ■水位設定の目安

関目橋上流側量水標

水位計

関目橋

川の流れる方向

水位計設置位置付近で堤防天端に達すると氾濫水位

水位が量水標「-0.5」を超えると危険水位

水位が量水標下端に達すると観測開始

水位グラフのイメージ

観測開始水位以上で10分ごとに計測

「水害ハザードマップ作成の手引き 令和3年12月一部改定 国土交通省水管理・国土保全局 河川環境課水防企画室」では、水位観測所等（映像が提供されるCCTV等を含む）の位置を地図上に表示することを標準とされており、今回追加した水位計を含め、水位観測所等の情報については、[市町のハザードマップへ掲載](#)いただく必要があります。

## 12. 円滑かつ迅速な避難のための取組

### 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目	実施時期	取組機関
・ 防災に関する出前講座の取組を実施する	引き続き実施	滋賀県

取組内容：マイ・タイムライン作成ツールを活用した出前講座の実施

令和4年度は、日本防災士会滋賀県支部に講座の募集・開催を委託  
湖東圏域では、小学校3校、1自治会にて実施



HPからダウンロード可



今後の取組：  
引き続き、出前講座等を実施し、マイ・タイムラインの普及啓発を行う。

また、学校の年間事業計画に組み込んで頂けるよう、教育委員会と連携し、防災教育ツールの活用方法について、教員向けの研修会を行う。

## 13. 被害軽減のための取組

### 水防体制に関する事項

取組項目	実施時期	取組機関
・ 自主防災組織の体制づくりを支援する（組織の育成や立上げサポート等）	引き続き実施	1市4町 滋賀県

取組内容：①地区防災計画策定支援

自治会等における地区防災計画策定にあたり、指導や助言、地域防災活動にかかる支援を行うアドバイザーを派遣する「地区防災計画策定支援アドバイザー」制度を構築。

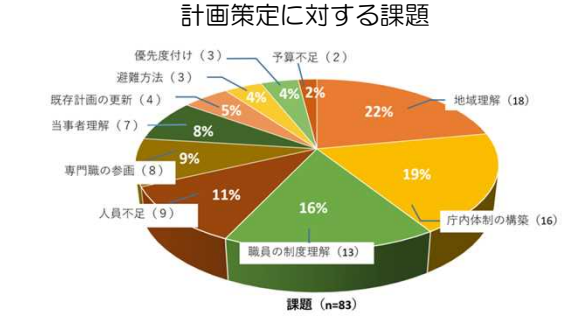
令和4年度はアドバイザー育成研修会を実施。研修を修了された方のうち18名が登録(令和5年3月末時点)。

今後の取組：  
市町からの要請に応じて、地区防災計画策定支援アドバイザーを派遣。

取組内容：②個別避難計画策定支援

令和3年5月の災害対策基本法改正により、個別避難計画の作成が市町村の努力義務になった。県では、個別避難計画作成のための防災と保健・福祉の連携モデル『滋賀モデル』を構築。

令和4年度は、地域や当事者、福祉専門職をつなぐインクルージョン・マネージャー、および福祉専門職を対象とする研修会をそれぞれ開催した。



今後の取組：  
引き続き、インクルージョンマネージャーや福祉専門職対象の研修を継続して実施する。

## 14. 各機関の取組報告

### 彦根市

#### (1) 円滑かつ迅速な避難のための取組 情報伝達、避難計画等に関する事項

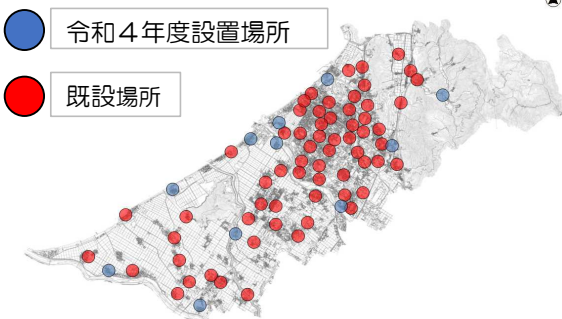
取組項目	実施時期	取組機関
・避難情報を確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等を検討する。	引き続き実施	1市4町 滋賀県

取組内容：FMひこねのFM電波を利用した同報系屋外放送設備の増設

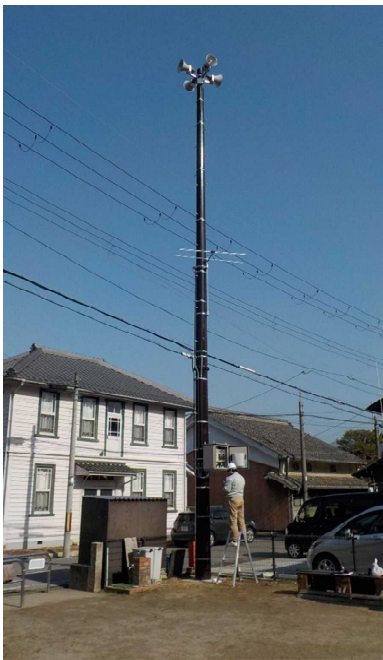
同報系屋外放送設備の設置基数

設置年度	調査基数
平成30年度	18
令和元年度	18
令和2年度	18
令和3年度	9
令和4年度	11
合計	74

同系屋外放送設備設置場所



同報系屋外放送設備設置場所



同報系屋外放送設備 写真

○今後の取り組み

引き続き、同報系屋外放送設備の設置を進めていくとともに、メール配信システムと市公式LINEの連携による円滑かつ迅速な情報伝達を進めていく。

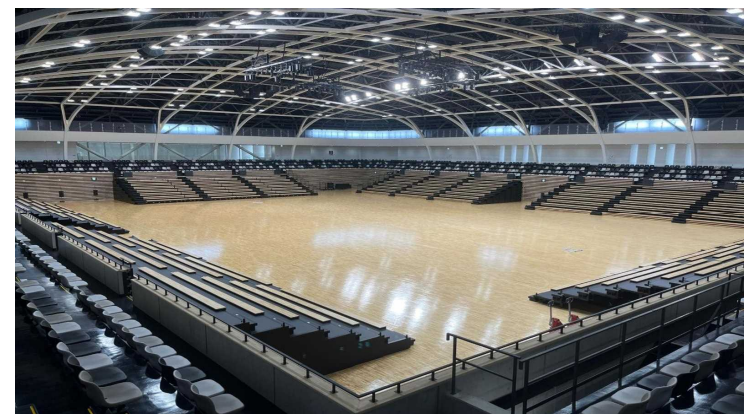
#### (1) 円滑かつ迅速な避難のための取組 情報伝達、避難計画等に関する事項

取組項目	実施時期	取組機関
・避難場所及び避難経路を検討し、避難場所の容量について検討する。	引き続き実施	1市4町 滋賀県

取組内容：指定緊急避難場所、指定避難所の指定

目的：地域の状況を踏まえ、避難場所を確保することで、水害のみならず、災害全般において、適切な容量の避難場所を開設し、市民の生命を守る。

内容：プロシードアリーナHIKONEを指定緊急避難場所および指定避難所に指定、パナソニック株式会社を指定緊急避難場所に指定した。



プロシードアリーナHIKONE（メインアリーナ）

※プロシードアリーナHIKONEは、避難場所の他、物資配送拠点、代替の災害対策本部機能を兼ね備えており、災害対策の拠点となる。

○今後の取り組み

引き続き、避難場所および避難経路を検討し、避難場所の容量について検討する。

## 14. 各機関の取組報告

### 甲良町

#### (2) 被害軽減の取組

#### 水害・土砂災害に関する広報の充実

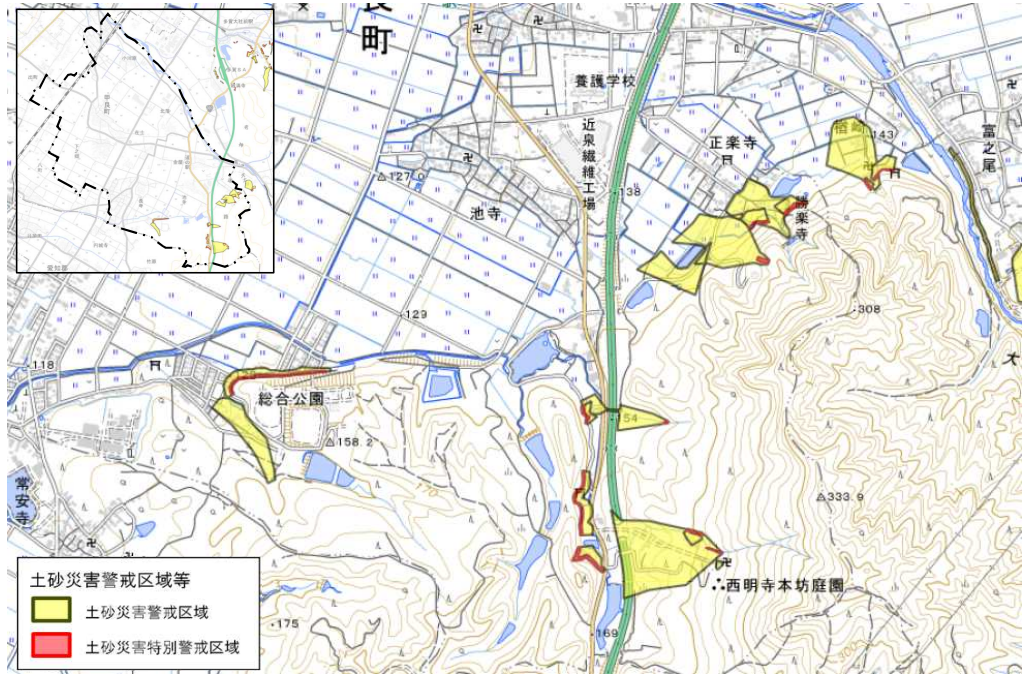
取組項目	実施時期	取組機関
・リスク情報の更新に応じて、水害危険性および土砂災害の危険性周知について情報共有する	引き続き実施	1市4町 滋賀県

取組内容：滋賀県土木交通部砂防課に来庁いただき、土砂災害警戒区域にお住まいの方を対象に出前講座を実施した。

目的：線状降水帯の影響により大雨になることがあり、予報等で察知することが難しいのが現状。そのため、いつ大雨が発生しても対処ができるよう住民に周知する。

内容：土砂災害の特徴・種類・土砂災害警戒区域等の説明を行うとともに土砂災害警戒情報の対応等について説明を行った。

( 余 白 )



滋賀県防災情報マップ